



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 日揮株式会社

上場取引所 東

コード番号 1963

URL <http://www.igc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 竹内 敬介

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 花原 健一

TEL 045-682-1111

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	487,089	10.3	46,004	△2.4	62,718	25.5	36,271	△0.4
25年3月期第3四半期	441,543	13.4	47,147	0.7	49,987	1.6	36,417	17.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 39,508百万円 (△0.6%) 25年3月期第3四半期 39,750百万円 (61.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
26年3月期第3四半期	143.68	—	
25年3月期第3四半期	144.25	—	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年3月期第3四半期	725,381		368,720		50.1	
25年3月期	628,757		336,083		53.4	

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 363,542百万円 25年3月期 335,534百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
25年3月期	—	—	—	45.50	45.50
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	46.50	46.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	690,000	10.5	69,500	8.4	78,000	7.6	47,000	1.8	186.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」を参照してください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	259,052,929 株	25年3月期	259,052,929 株
26年3月期3Q	6,632,518 株	25年3月期	6,601,447 株
26年3月期3Q	252,439,275 株	25年3月期3Q	252,469,601 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、当社が本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となることがあります。業績予想の前提につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」を参照してください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
4. 補足情報 .....	9
(参考) 受注高、売上高および受注残高 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済再生実現に向けての各種政策効果の発現を背景に、企業収益の改善がみられる等、緩やかに回復しつつありました。世界経済は、緩やかな回復が続く底堅さも見られたものの、米国の政策動向による影響、欧州政府債務問題、地政学的リスクの高まり等により、引き続き不透明な状況にあります。

日揮グループの展開する総合エンジニアリング事業に最も関係の深い産油・産ガス諸国では、世界的な人口増加や新興国の経済成長を背景としたエネルギー需要の増加により、多くの石油・ガスへの投資が引き続き計画されております。特に、北米地域においては、シェールガス開発の進展により安価で豊富なシェールガスを原料とするLNG（液化天然ガス）プロジェクトやガス化学プロジェクト等が数多く計画されております。また、中東・北アフリカ地域では、原油処理・ガス処理プロジェクトのほか、石油やガスの高付加価値化を目的とする石油精製プロジェクトやガス化学プロジェクト等が計画されております。加えて、東南アジア、東アフリカやロシアでは、今後日本をはじめとするアジア地域を中心にさらなるLNG需要の増加が予想されることから、複数のLNGプロジェクトが計画されております。

このような状況のもと、日揮グループの当第3四半期連結累計期間の業績等については、以下のとおりとなりました。

#### 経営成績

	当第3四半期連結累計期間 (百万円)	前年同期増減率 (%)
売上高	487,089	10.3
営業利益	46,004	△2.4
経常利益	62,718	25.5
四半期純利益	36,271	△0.4

#### 受注高

	当第3四半期連結累計期間 (百万円)	割合(%)
海外	252,000	77.2
国内	74,254	22.8
合計	326,255	100.0

この結果、当第3四半期連結会計期間末の連結受注残高は、契約金額の修正・変更および為替変動による修正を加え、1兆4,134億円となりました。

#### セグメント別状況

##### 総合エンジニアリング事業

EPC（設計・調達・建設）ビジネスでは、プロジェクトの確実な遂行に注力するとともに、日本国内をはじめ中東、アフリカ、東南アジア、ロシアおよび北米地域を中心に積極的な受注活動に取り組みました。その結果、当社は平成25年4月に、ロシアにおけるLNGプラントの詳細設計役務等を受注したほか、同年5月には、カナダにおける大型LNGプロジェクトの基本設計役務等を受注、また、同年7月に米国テキサス州における大型エチレン製造プラントの建設プロジェクトを受注いたしました。なお、当第3四半期連結累計期間後の本年1月14日付で発表したとおり、当社は、カナダにおける大型LNGプラントの新設プロジェクトの発注内示を受領いたしました。

投資ビジネスでは、当社は平成25年6月に、株式会社IHIおよびジャパンマリンユナイテッド株式会社とともに、ブラジルの造船会社への出資を決定したほか、同年8月に、丸紅株式会社およびサウジアラビアのAljomaih Holding Companyとともに、サウジアラビア国営石油会社が同国東部州に保有する石油・ガス関連施設にコージェネレーション設備を建設し、20年間に亘り、電力および蒸気を供給する電力蒸気販売契約を締結いたしました。加えて、同年9月には、千葉県鴨川市において、当社にとって2件目となる国内大規模太陽光発電（メガソーラー）事業の実施を決定いたしました。また、同年12月、当社はカンボジア王国において、日本の医療技術力、ホスピタリティを活かした病院事業の実施を決定いたしました。

## 触媒・ファイン事業

触媒事業では、石油化学触媒は堅調に推移したものの、石油精製触媒は輸出案件の納入数量減少、納期変更等により製品出荷が減少いたしました。ファイン事業においてもIT関連顧客の在庫調整によりハードディスク用研磨材等の出荷が減少したことから、触媒・ファイン事業の業績は、前年同期比で減収減益となりました。今後、石油精製触媒における国内シェア回復、輸出案件の拡大、アディティブ触媒の拡販、中国脱硝触媒ビジネスの深耕、ファイン事業における光学材料・化粧品材料の新興国向け拡販およびIT関連材料の用途拡大等を積極的に推進してまいります。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産が7,253億81百万円となり、前連結会計年度末比で966億23百万円増加しました。また、純資産は3,687億20百万円となり、前連結会計年度末比で326億37百万円増加しました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績見通しについては、当第3四半期業績および今後の為替動向等を考慮し、平成25年5月13日に発表した予想を次のとおり変更いたします。

なお、本業績予想に使用している為替レートは、1米ドル=100円です。

(単位：百万円)

	前回発表予想 (A)	今回発表予想 (B)	増減額 (B) - (A)	増減率 (%)
売上高	690,000	690,000	—	—
営業利益	69,500	69,500	—	—
経常利益	74,000	78,000	4,000	5.4
当期純利益	47,000	47,000	—	—

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	259,777	338,186
受取手形・完成工事未収入金等	96,570	79,857
有価証券	25,000	33,048
未成工事支出金	35,839	50,916
商品及び製品	4,514	4,945
仕掛品	1,911	3,162
原材料及び貯蔵品	2,119	2,954
未収入金	10,971	12,211
繰延税金資産	15,068	16,045
その他	8,551	11,016
貸倒引当金	△92	△88
流動資産合計	460,231	552,257
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	62,316	62,134
機械、運搬具及び工具器具備品	51,721	59,226
土地	25,977	25,977
リース資産	802	791
建設仮勘定	7,719	1,201
その他	2,573	3,590
減価償却累計額	△79,401	△82,985
有形固定資産合計	71,708	69,937
無形固定資産		
のれん	0	0
ソフトウェア	2,583	2,310
その他	10,196	12,654
無形固定資産合計	12,780	14,965
投資その他の資産		
投資有価証券	84,188	92,559
長期貸付金	19,189	21,829
繰延税金資産	2,667	1,212
その他	2,699	5,998
貸倒引当金	△18,421	△20,551
投資損失引当金	△6,286	△12,825
投資その他の資産合計	84,037	88,221
固定資産合計	168,526	173,124
資産合計	628,757	725,381

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	93,335	110,419
短期借入金	6,686	1,404
未払法人税等	18,758	11,647
未成工事受入金	87,711	160,590
完成工事補償引当金	1,862	2,086
工事損失引当金	22,030	20,711
賞与引当金	7,001	3,879
役員賞与引当金	180	119
債務保証損失引当金	2,417	65
その他	22,455	13,021
流動負債合計	262,439	323,946
固定負債		
長期借入金	9,363	12,349
退職給付引当金	12,355	11,262
役員退職慰労引当金	271	273
繰延税金負債	292	905
再評価に係る繰延税金負債	3,691	3,691
その他	4,260	4,231
固定負債合計	30,235	32,714
負債合計	292,674	356,660
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,511	23,511
資本剰余金	25,603	25,605
利益剰余金	291,781	316,867
自己株式	△6,330	△6,447
株主資本合計	334,565	359,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,417	8,424
繰延ヘッジ損益	1,606	△3
土地再評価差額金	△6,542	△6,542
為替換算調整勘定	486	2,126
その他の包括利益累計額合計	968	4,005
少数株主持分	549	5,178
純資産合計	336,083	368,720
負債純資産合計	628,757	725,381



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	441,543	487,089
売上原価	379,614	425,824
売上総利益	61,928	61,265
販売費及び一般管理費	14,780	15,260
営業利益	47,147	46,004
営業外収益		
受取利息	1,077	1,426
受取配当金	1,358	2,109
為替差益	—	12,539
固定資産賃貸料	487	477
持分法による投資利益	451	596
その他	217	125
営業外収益合計	3,591	17,274
営業外費用		
支払利息	174	206
為替差損	183	—
固定資産賃貸費用	231	231
その他	161	123
営業外費用合計	751	561
経常利益	49,987	62,718
特別利益		
固定資産売却益	8	1
債務保証損失引当金取崩額	—	2,351
その他	4	119
特別利益合計	13	2,471
特別損失		
固定資産売却損	0	0
投資損失引当金繰入額	—	6,539
その他	1,463	733
特別損失合計	1,464	7,273
税金等調整前四半期純利益	48,536	57,915
法人税等	12,096	21,444
少数株主損益調整前四半期純利益	36,440	36,471
少数株主利益	22	200
四半期純利益	36,417	36,271

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	36,440	36,471
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	450	3,006
繰延ヘッジ損益	1,122	△1,609
為替換算調整勘定	1,738	1,639
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	3,310	3,036
四半期包括利益	39,750	39,508
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,727	39,308
少数株主に係る四半期包括利益	22	200

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	総合エンジ ニアリング	触媒・ファ イン	計				
売上高							
外部顧客への売上高	408,855	27,662	436,518	5,024	441,543	—	441,543
セグメント間の内部 売上高または振替高	14	162	176	3,430	3,607	△3,607	—
計	408,869	27,825	436,695	8,454	445,150	△3,607	441,543
セグメント利益	43,666	3,049	46,716	431	47,147	△0	47,147

(注) 1. その他には、情報処理事業、コンサルティング事業、オフィスビル管理事業、原油・ガス生産販売事業などを  
含んでいる。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去である。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	総合エンジ ニアリング	触媒・ファ イン	計				
売上高							
外部顧客への売上高	453,087	26,326	479,414	7,675	487,089	—	487,089
セグメント間の内部 売上高または振替高	103	17	120	3,393	3,513	△3,513	—
計	453,190	26,344	479,535	11,068	490,603	△3,513	487,089
セグメント利益	42,493	2,626	45,119	864	45,984	19	46,004

(注) 1. その他には、情報処理事業、コンサルティング事業、オフィスビル管理事業、発電・造水事業、原油・ガス生  
産販売事業などを含んでいる。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去である。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

#### 4. 補足情報

(参考) 受注高、売上高および受注残高

(単位：百万円)

区分	前連結会計年度末 受注残高	当第3四半期 連結累計期間 受注高	当第3四半期 連結累計期間 売上高	当第3四半期 連結会計期間末 受注残高
国内				
石油・ガス・資源開発関係	40	229	168	101
石油精製関係	15,809	24,006	12,630	27,185
LNG関係	23,627	1,117	10,690	14,054
化学関係	1,791	8,676	6,009	4,458
発電・原子力・新エネルギー関係	36,659	19,475	9,730	46,405
生活関連・一般産業設備関係	6,579	4,169	6,737	4,011
環境・社会施設・情報技術関係	19,296	12,301	6,125	25,472
その他	716	4,277	2,038	2,955
計	104,520	74,254	54,130	124,644
海外				
石油・ガス・資源開発関係	220,885	7,244	120,970	107,159
石油精製関係	237,555	23,899	27,024	234,431
LNG関係	932,801	103,070	227,256	808,615
化学関係	38,091	111,169	15,595	133,665
発電・原子力・新エネルギー関係	2,387	79	212	2,254
生活関連・一般産業設備関係	11,302	579	10,651	1,230
環境・社会施設・情報技術関係	10	11	19	1
その他	361	5,944	4,901	1,404
計	1,443,395	252,000	406,632	1,288,763
総合エンジニアリング事業	1,546,200	316,243	453,087	1,409,356
その他の事業	1,715	10,012	7,675	4,052
計	1,547,916	326,255	460,763	1,413,408
触媒・ファイン事業	—	—	26,326	—
合計	1,547,916	326,255	487,089	1,413,408

(注) 1. 各項目の金額は、消費税等を除いて記載している。

2. 総合エンジニアリング事業およびその他の事業の「前連結会計年度末受注残高」は当第3四半期連結累計期間の為替換算修正および契約金額の修正・変更をそれぞれ次のとおり含んでいる。(単位：百万円)

区分	為替換算修正	契約金額の修正・変更	計
石油・ガス・資源開発関係	13,998	△42	13,956
石油精製関係	2,296	—	2,296
LNG関係	14,771	△158	14,613
化学関係	2,815	△0	2,815
発電・原子力・新エネルギー関係	△0	△0	△0
生活関連・一般産業設備関係	239	△23	216
環境・社会施設・情報技術関係	—	—	—
その他	△5	△84	△90
計	34,116	△309	33,807
総合エンジニアリング事業	34,153	△309	33,844
その他の事業	△36	—	△36

3. 触媒・ファイン事業については受注生産を行っていないため、「前連結会計年度末受注残高」、「当第3四半期連結累計期間受注高」および「当第3四半期連結会計期間末受注残高」は記載していない。

4. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。